

Title	GLOCOLブックレット13 はじめに
Author(s)	大橋, 一友
Citation	GLOCOLブックレット. 2014, 13, p. 3-4
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/50047
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

1-2 プログラム担当者ガイド目次細目

概要

手続き関係	12
1) 手続きの流れ	12
2) 会計処理	12
リスク管理関係	15
3) 旅行形態	15
4) ビザ	16
5) 加入すべき保険・サポートサービス	18
6) 健康管理	20
7) リスク管理体制	25
8) リスク管理マニュアル	27
9) シミュレーション	28
10) リスク事例	34

詳細

手続き関係	40
・募集要項	40
・申請書	41
・参加決定後の手続き	41
・助成金支給	44
・経費処理	46
・業務委託契約	46
リスク管理関係	49
・担当教職員の設定	49
・連絡手段の確保	50
・緊急連絡先資料	51
・緊急時対応情報	51
・緊急時対応資料共有	52
・定時連絡	53

コラム

・企画旅行と手配旅行の選択(法的責任範囲・選択基準)	安藤由香里	17
・海外渡航時の健康管理について	大橋一友	24
・学生海外派遣時の注意事項	安達大祐	26
・リスク管理体制構築において留意すべきこと および危機管理シミュレーションの必要性	小峯茂嗣	31
・経費処理の留意点	深井 明	47
・企画公募型のプログラム構築の課題	敦賀和外	48

はじめに

大橋一友

大阪大学グローバルコラボレーションセンター長

このたび大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)よりGLOCOLブックレット「海外体験型教育プログラム 短期派遣手続きとリスク管理～大学におけるより良い海外派遣プログラムをめざして～」を刊行いたしました。GLOCOLは2007年度に大阪大学の教育目標「教養・デザイン力・国際性」のうち「国際性」を強化する部局として設立されました。その活動の特徴は研究・教育・実践を統合したグローバル人材育成と育成方法の開発です。2010年度よりは海外での実地体験学習と実践のサポートを目的とした海外体験型教育企画オフィス(FIELD: Fieldwork, Internship and Experiential Learning Design Office)を設置し、活動のさらなる強化を図りました。FIELDは2011年度より活動を開始し、本書は2013年度途中までの活動をまとめた内容になっています。

グローバル人材育成という言葉は大学教育のなかでも数多く用いられています。しかし、グローバル人材育成にあたっての大学組織としての体制にはまだまだ不十分な点があるように思われます。本書では2年以上にわたり、GLOCOLの全教職員が学生の海外派遣をいかに円滑に行い、また、いかにリスクを軽減してきたかを、総括したものです。書かれた内容は今後も修正や改善が加えられ、さらにより良いものにしていかなくてはなりません。

本書の内容が、すでに学生の海外派遣を行っている大学などの担当者ばかりではなく、これから学生の海外派遣プログラムを行う大学の担当者、さらには大学以外の教育・研究機関や官公庁、一般企業に至るまで、海外での活動を展開される皆さまの一助になることを期待しております。お読みいただいた方々からのご意見をいただき、本書の内容をさらにより良いものにして

まいりたいと思います。

また、この度のブックレットを作成するにあたり、学生の海外派遣に関する経験をふまえた貴重な記事執筆をご快諾いただいた株式会社日本リスクマネジメント代表取締役、海外留学生安全対策協議会(JCSOS: Japanese Council for the Safety of Overseas Students)顧問 酒井悦嗣氏、エスエーエフ・スタディ・アブロード・ファウンデーション(SAF:The Study Abroad Foundation)日本事務局副ディレクター 松田晴子氏、大学教育における「海外体験学習」研究会(JOELN)所属、明治学院大学国際学部准教授 齋藤百合子氏および関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今後ともGLOCOLの活動にご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。